

# 株式投資シミュレーション結果報告

～「野村バーチャル株式投資倶楽部」を使っての株式運用～

現代経済学演習

2年生

グループ1	櫛田 明 (econos-kusi)	清水徹也 (econos-shimizu)
	林 政 (econos-hayashi)	盛永修弘 (econos-yasu)
グループ2	荒巻良一 (economis-ara)	長谷川竜太 (econos-ryuu)
	藤原陽士 (econos-youji)	
グループ3	内丸智之 (econos-tom)	川口 淳 (econos-jun)
	川畑哲也 (econos-kt)	小林哲也 (econos-T-028)
	浜瀬直樹 (econos-nao)	山本和之 (econos-yama)

( )内はシミュレーションでのハンドルネーム

指導教員 藤生 裕

## 目次

### 1. 概要と概況

個人残高の推移

残高合計の推移

日経平均株価について

### 2. 各グループの結果

グループ1

グループ2

グループ3

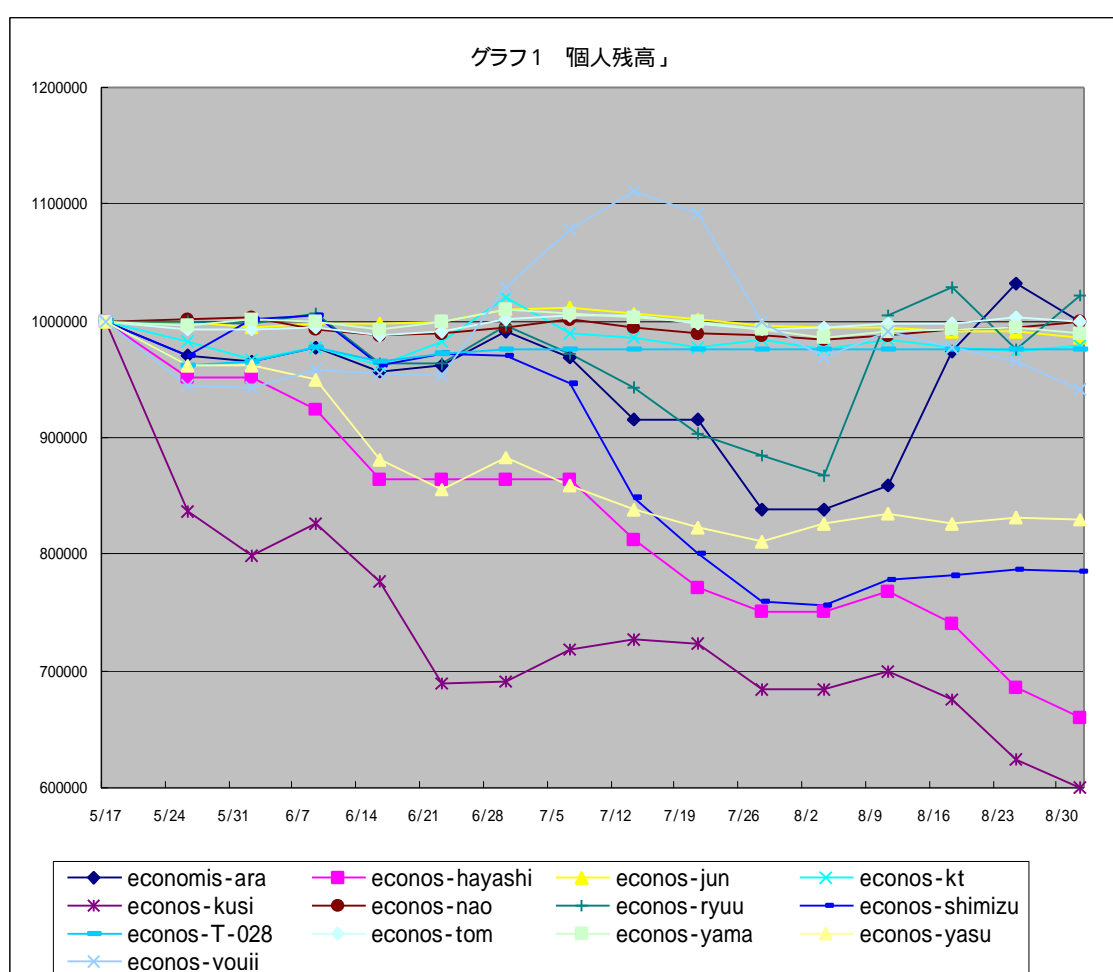
### 3. 講評

## 1. 概要と概況

### < 内容 >

我が藤生ゼミでは、インターネットを使い、野村のバーチャル株式投資倶楽部というもので、株のバーチャル投資を行いました。

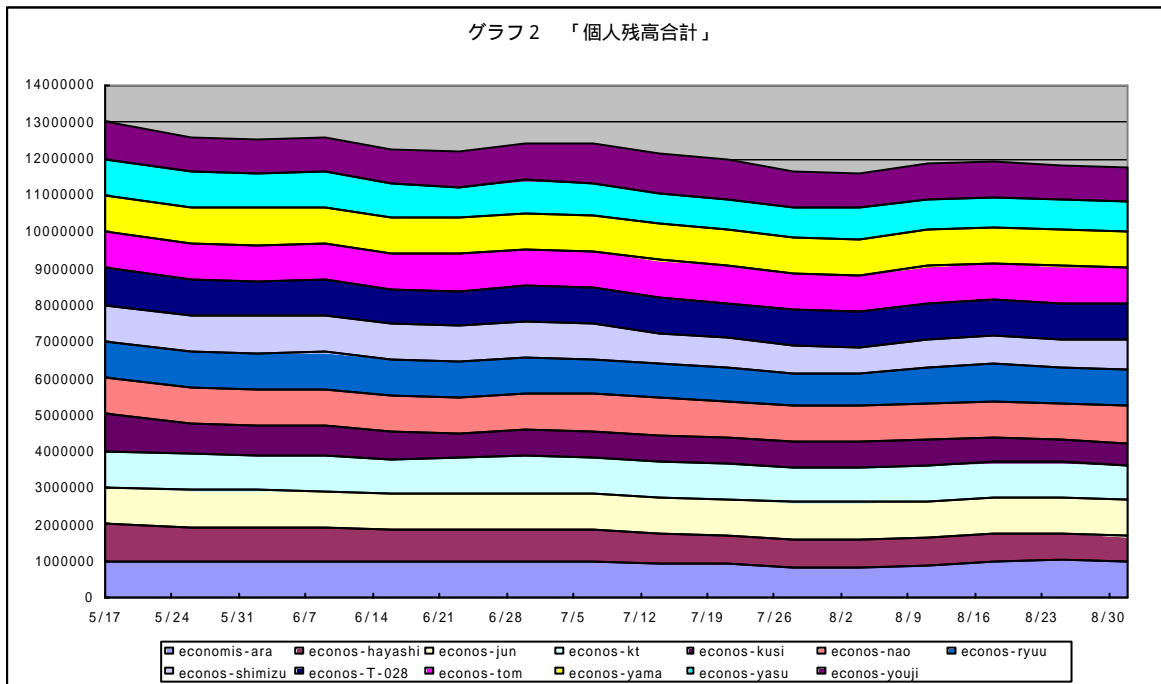
### 個人残高の推移



### < 株のバーチャル投資 >

元手100万円からのスタートで、各自が考えた戦略で株を買い、様子を見ながら株の売買を行った。moneyが増える人もいれば、moneyが減った人もいて、様々な結果になりました。その結果が上のグラフになります。

## 残高合計の推移



### 《グラフの説明》

個人の資産残高の合計をとったものです。5月17日スタート時点から各自100万円の資産を持って資産運用を始めた。全員の資産残高の合計は1300万円からスタートしている。その値をとったグラフは1番上の線で表されている。

### 《コメント》

5月17日、バーチャル株式投資を開始するが米国株式市場の大幅下落に影響を受け、5月24日の時点で約50万円のダウンといきなり落ち込んだ。しかし、米国株式市場は25日以降回復し始め合計残高もしだいに上昇し始めた。6月7日～6月14日にかけて合計残高のグラフが急に下がり始めた。これは採用銘柄の大幅入れ替えで景気回復に水を差されたためであったが、米店頭市場ナスダック総合指数が伸びてきたのを受け株価も上がり合計残高回復。それも7月始めまでだったので、中旬にさしかかるとナスダック総合指数は急落し、13人全員がその影響をもろに受け、8月2日には150万円近くもダウンしてしまった。8月5日以降回復するも前月の影響が大きく、合計残高は結局増えることなくマイナスで終わった。

## 日経平均株価について

### 日経平均株価とは

日経225（東証一部上場の株式会社のなかの225社）の平均株価のことを日経平均株価という。（注：グラフ内では，“Nikkei225”と表記されている。）

### 日経平均株価の下降要因

5月17日～

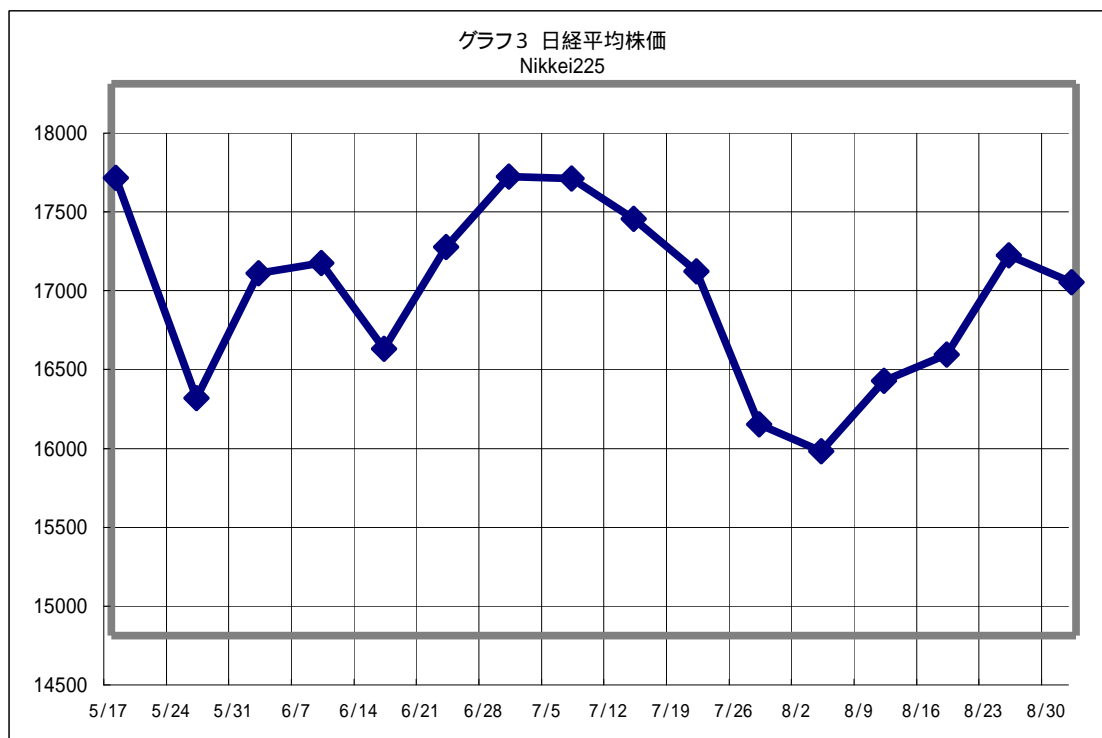
米国店頭為替市場（ナスダック）の下落を受け、大幅下落となる。

6月30日～

日本平均株銘柄の大幅入れ替えによる、平均株価の変動

7月10日～

大手百貨店そごうの破たんにより、相場全体に悪い連想が働き、IT（情報技術）関連のかげりや、銀行の不良債権問題、米国株の低迷などに対する反転材料がなく、下降の一途をたどった。



## 2. 各グループの結果

### グループ1

#### グループの結論

1. High risk High return 傾向であったため、全体的に下降ぎみとなった。
2. 経済情報を入手するも株の売買にいたるタイムラグ（時間差）が原因で、資産の減少につながった。
3. 一流企業の株だけを注目したことによる視野の狭さが株売買における柔軟性に欠けた。

#### GROUP メンバーのコメント

##### **e-Hayashi** (林)

株式は、下降したら上昇すると考え、下降した企業を中心に購入しました。その結果、一部成功しましたが、そのまま引きずられてしまうことが多々あり、失敗しました。

##### **e-Kushi** (榑田)

株について、ほとんど知識がない頃に大きく失敗して下がってしまい、途中少し上げることが出来たがだめだった。さらに、最後に雪印で大きく下がった。

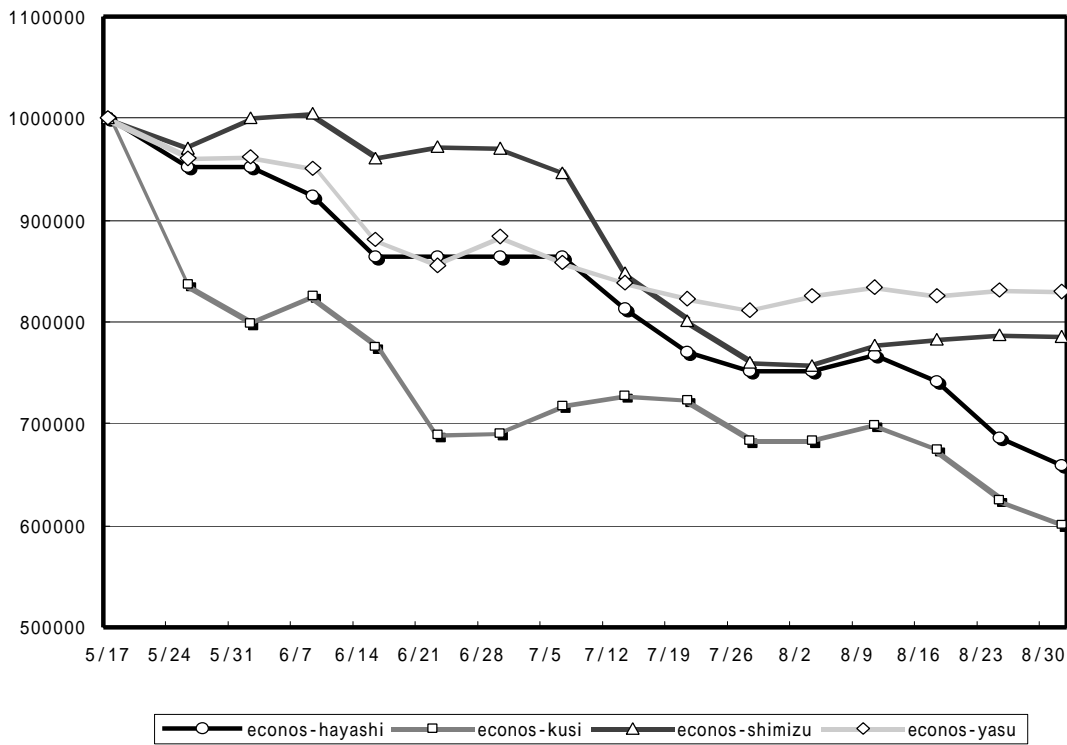
##### **e-Simizu** (清水)

7月初めに某大作RPGのはつばいによる企業業績の上昇に伴う株価の上昇を見込み、某ゲーム会社の株を大量購入するが、あえなく失敗。

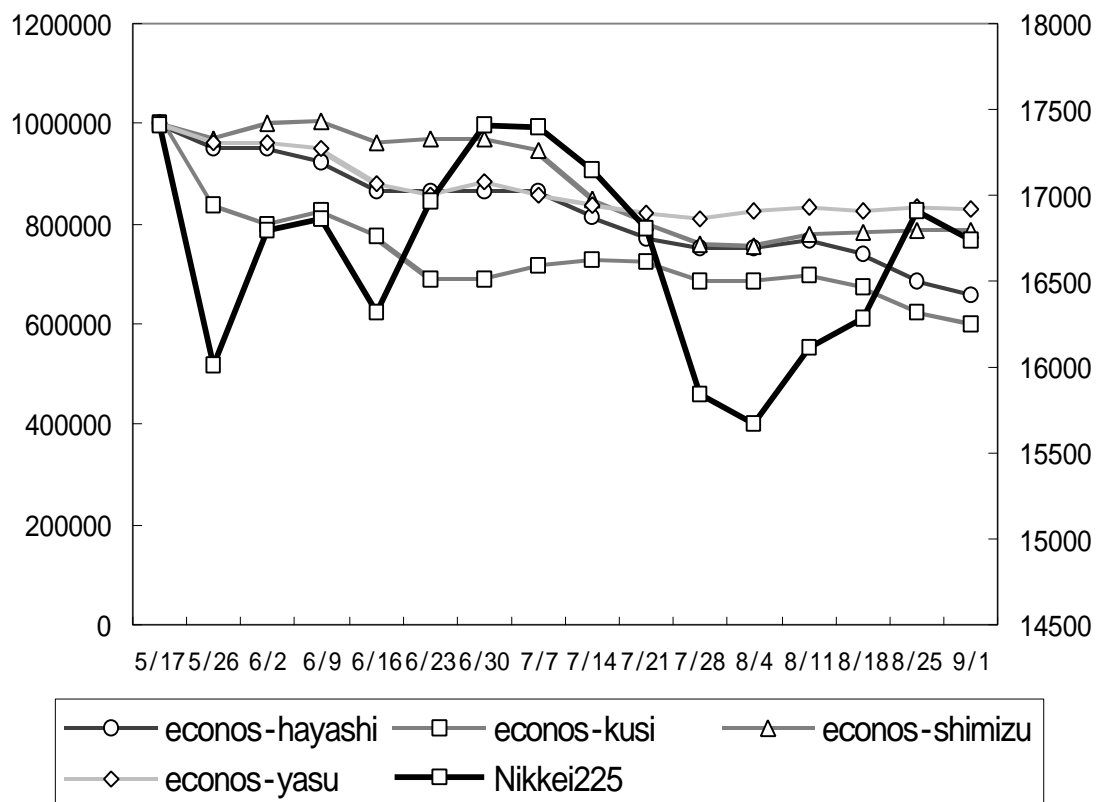
##### **e-Yasu** (盛永)

初めは、日経平均株価の変動に左右されて変動していたが、その後の株の買い方が少しずつわかり始めたことにより株価の変動が落ち着き始めた。

Group1 比較表

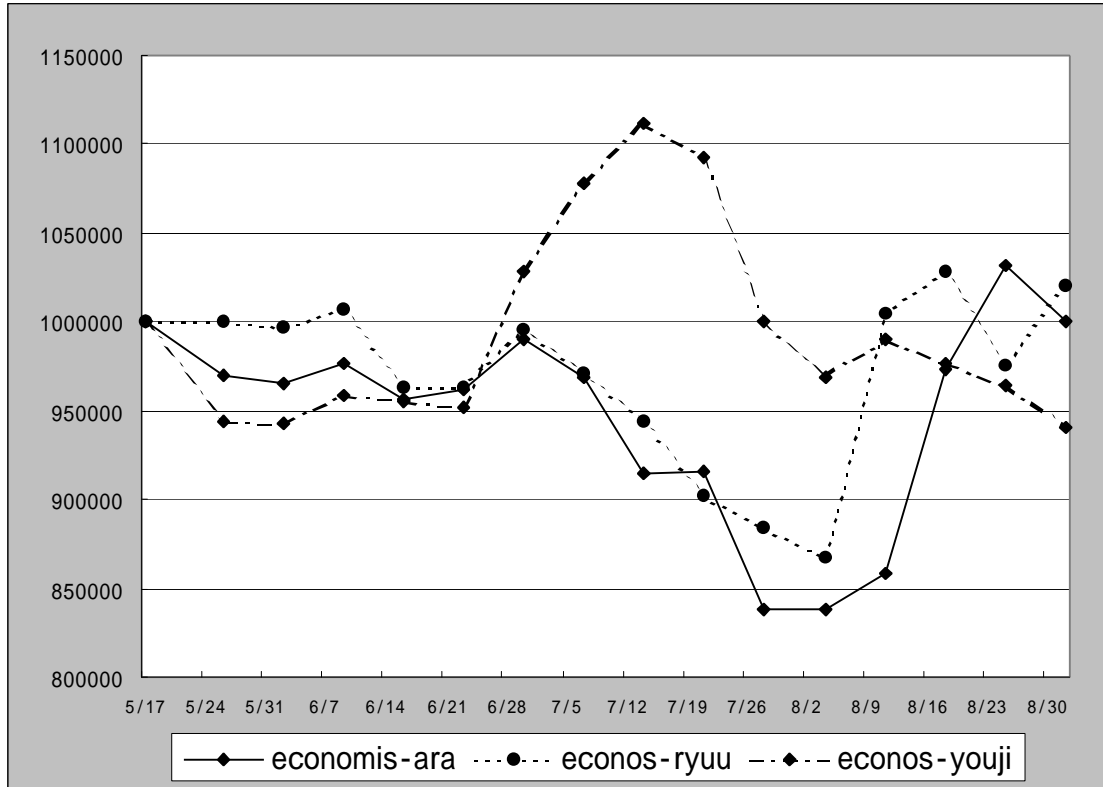


日経平均株価と比較して



## グループ2

### グループ内での比較



### (各自のコメント)

#### \* 荒巻氏 \*

最初はキャノンという株を買い、しばらく様子を見た。7月5日にユーシン精機の株を買ったら大当たり！！

#### \* 長谷川氏 \*

始めの頃は売買を行わなかったのが徐々に下降していたが、8月2日前後に買った科学繊維が大ブレイク！

#### \* 藤原氏 \*

6月21日から7月12日の間旭化成が高くなり7月12日に最高潮！まさに...ぶっちぎり！旭化成最高！

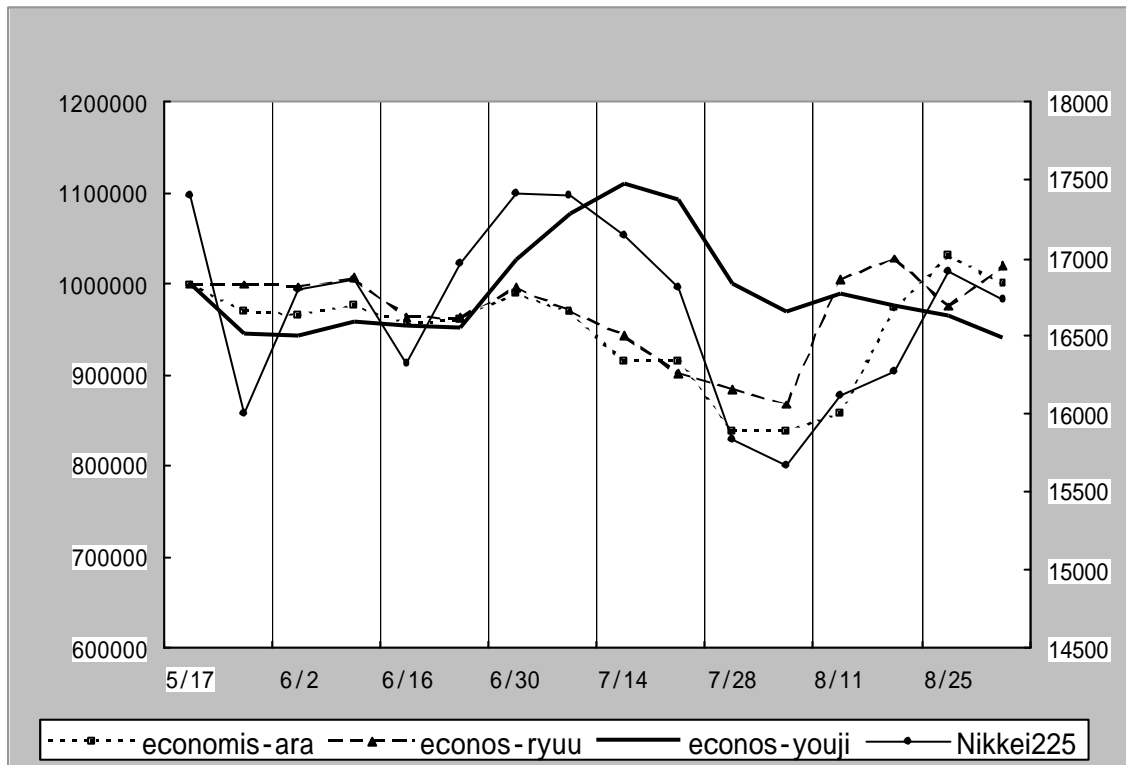
#### <メンバー>

- ・ 荒巻良一 (economis-ara)
- ・ 長谷川竜太 (econos-ryuu)
- ・ 藤原陽士 (econos-youji)

## グループ2

### 日経平均との比較

<単位> 左：株価 右：日経平均



<各自のコメント>

荒巻氏より・・・

\* 株の買い方として株価が上がっているのを買っていたので平均になった。

長谷川氏より・・・

\* どんなに良い株を買っても日経平均が下がったら株価も下がっているの  
で株は難しいとわかった。

藤原氏より・・・

\* 6月から7月にかけて旭化成の株が急上昇！日経平均もなんのそのでした。

<メンバー紹介>

荒巻 良一

*economis-ara*

長谷川 竜太

*econos-ryuu*

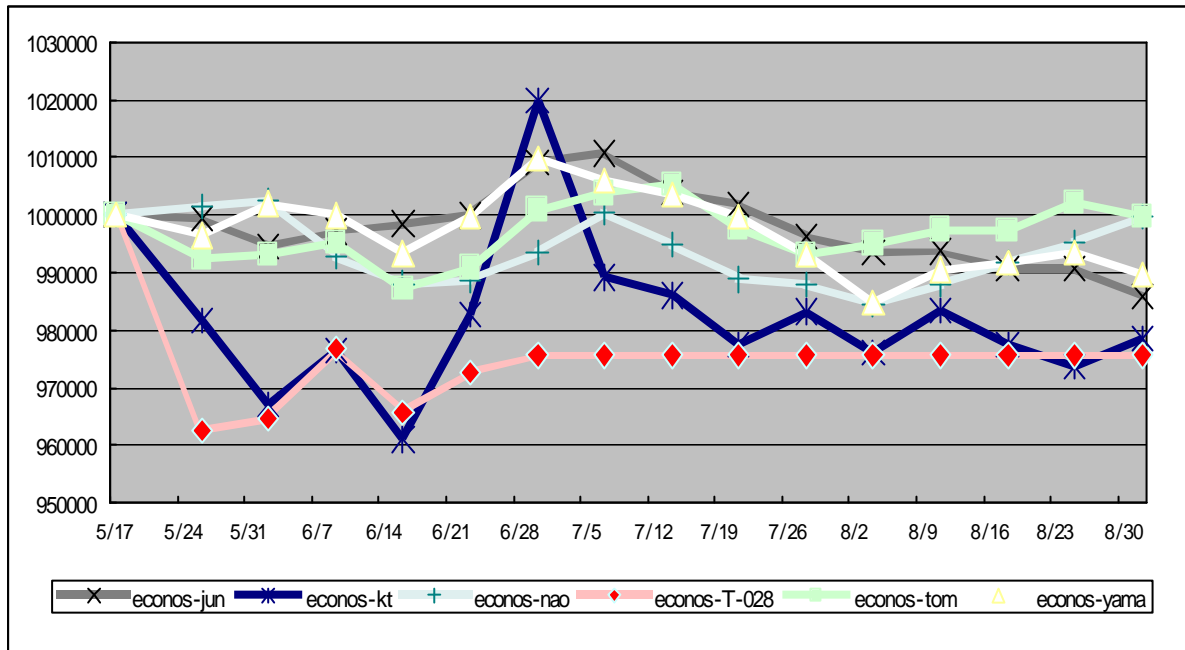
藤原 陽士

*econos-youji*



### グループ3

## メンバー同士の比較



川口 淳 僕のグラフはみんなと比べて動きが少なかった。それは、買った銘柄が少な  
(econos-jun) 買ったのと企業が安定していたからだろう。

川畑哲也 前半、ほかの人と比べてもっとも大きく変化していた。後半は、大きな変化  
(econos-kt) は見られなかった。

浜瀬直樹 6月3日まで絶好調だったが、そこから下降したので売買をよく行った。み  
(econos-nao) んな強いと思った。

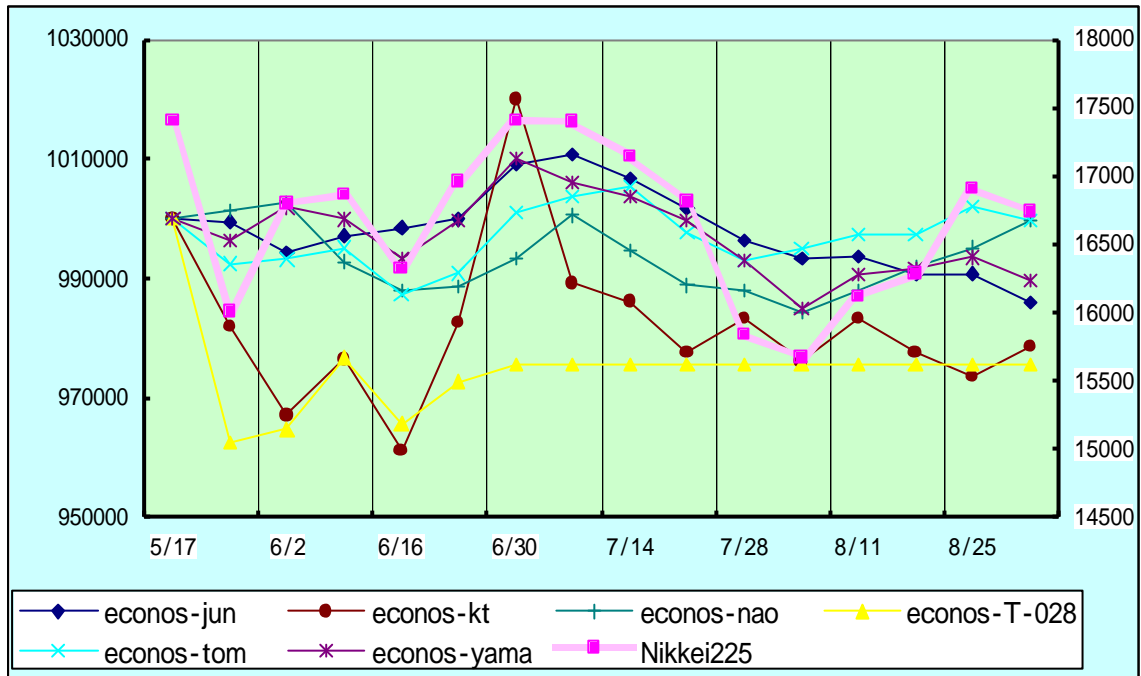
小林哲也 スタート時から5月25日まで1番で下降し、6月30日から平行線をキー  
(econos-T-028) プしてるが最終的にビリでした。

内丸智之 最初に株を買って以来動かさなかったため、思うように伸びなかった。長  
(econos-tom) い目で見て上がってくれればと思ったけど、スタートより下になった。

山本和之 6月28日の時点で100万を越えていてこのまま上昇していくと思った  
(econos-yama) けど、最終的に100万をきってしまった。あの時売ってしまえばと思った。

### グループ3

## 日経平均株価との比較



川口 淳 8月3日の日経平均株価最安値の時も、僕はハイテク株を買っていなかった (econos-jun) ので、安定していた。

川畑哲也 6月30日までは日経平均株価とほぼ同じ動きをしていたが、それ以降は違った動きをするようになった。

浜瀬直樹 日経平均株価にもろに影響を受けた。売って回復したように思えたが失敗 (econos-nao) に終わった。

小林哲也 日経平均株価より小さい。6月30日に持ち株3個を売却したのでそれ以降 (econos-T-028) 降変動無し。

内丸智之 日経平均株価とほとんど似ている。企業字体の不振というよりもこの動きに (econos-tom) 沿った形になった。

山本和之 株価の動きは小さかったが、たくさんの株を買ったので日経平均株価の動き (econos-yama) と同じになった。

### 3. 講 評

経済，そして経済学は，テキストを読むだけで十分理解できるわけではありません．現実  
に起こっていることを学ぶのですから，実体験 現実の経済からうける実感  
をともなうことで，より理解が深まると考えられます．

ゼミ 2 年生は，ゼミに入って間もなく，株式投資シミュレーションをはじめました．ま  
ず，各自所持金 100 万円あると想定し，それを実際に株式市場に上場されているいくつか  
の銘柄に（仮に）投資します．これで，（金融）資産を持ったこととなります．日々の株式  
相場動向により，各銘柄の値（株価）は変化し，そのため，資産の評価額は増減します．「と  
にかく増やしたい」や「安全に運用したい」など，人それぞれ，資産運用の目的は異なる  
でしょう．そこで，次は，その目的に合わせて，タイミングを図りながら，投資銘柄を入  
れ替えていきます．このように資産運用をしてゆき，半年間の運用成績を競った結果が，  
ここに報告されています．

今回，景気低迷のため，日本の株式相場自体が下降気味であり，運用成績はよくありま  
せんでした．しかし，一方で，成功したことがあります．各ゼミ生が，日々のニュースと  
株式相場が無関係でないことを認識したこと，さらに，新聞記事やニュースに興味をもっ  
て接するようになったことです．今では，ゼミの内容に新聞記事の報告も加わっています．  
そのような意味で，ゼミ生諸君を評価するとともに，今後も期待したいと思います．

#### 追記

資産運用はゼミ生各個人がそれぞれおこなっています．報告主体となっているグループ  
は，報告書作成の段階で，運用成績や評価額の推移に同じような特徴の見られる人たちが  
形成されたものです．

担当教員 藤生 裕